

大会開催にあたって

今年度の研究大会は北海道大学での対面開催になります。個人発表やシンポジウムなどを通じて北海道大学に所属する研究者も多数参加する大会になりました。単独共同の発表をふくめて9組13名の研究者が個人研究発表を行いますので、ぜひとも会場の議論にご参加ください。ネットワーキングタイムという交流の時間も設けています。シンポジウムは「身体経験の変容と現象学」と題して、稻見昌彦氏、染谷昌義氏、長坂真澄氏の各氏に提題していただき、身体の変容をめぐる対話を通じて現象学の可能性や意義を確認する場にしていただきます。また、男女共同参画・若手研究者支援ワークショップとして「出産育児とキャリア形成：親になることと研究・教育活動」が開催されます。出産や育児と研究者のキャリア形成という課題が学会の企画を通じて共有される時間になります。多くの会員諸氏のご参加をお待ちしております。非会員の皆様にもご案内いただければ幸いです。

企画実行委員長

プログラム

11月16日（土）

10:05-12:30 個人研究発表（発表30分・質疑応答15分）
会場（第4会議室）

司会：石原・三村委員

10:05-11:50 宮崎勝正（北海道大学）
『眞理と方法』における「解釈」と「遊び」
——解釈学的事象の言語性をめぐって——

10:55-11:40 林成彦（北海道大学）
フッサーによる「明証感情論」への批判について
——志向的体験としての感情の観点から——

11:45-12:30 宮原克典、新川拓哉、濱田太陽、西田知史
エポケーとは何をすることか
——実証的アプローチの可能性——

12:30-13:40 昼休み

第1回委員会・会場（第2会議室）

13:50-16:50 【シンポジウム】会場（小講堂）

「身体経験の変容と現象学」

稻見昌彦（東京大学）

長坂真澄（早稲田大学）

染谷昌義（北海道大学）

司会：田口茂（北海道大学）

17:00-18:00 ネットワーキングタイム

会場（第4会議室）

11月17日（日）

09:20-11:45 個人研究発表（発表30分・質疑応答15分）

A会場（第4会議室）

司会：榎原・植村委員

09:20-10:05 潤原花音
フッサーの「注意の現象学」における自我と関心
10:10-10:55 渡辺朱音
マックス・シェーラーにおける共感と想像
11:00-11:45 柳川耕平
衝動の時間的性格について

B会場（第3会議室）

司会：小手川・村上委員

09:20-10:05 酒井麻依子、油田優衣
身体を着替える
——介助の現象学試論——
10:10-10:55 國領佳樹
メルロ＝ポンティと超越論的素朴実在論
11:00-11:45 小林徹（龍谷大学）
象徴の制度化
——構造主義とメルロ＝ポンティ——

11:45-13:00 昼休み

第2回委員会・会場（第2会議室）

13:00-13:30 総会会場（小講堂）

13:30-14:30 【特別講演】会場（小講堂）

Minna-Kerttu Kekki (the University of Helsinki)
Phenomenology of nationalism:
Taking Edith Stein to the 21st century

14:30-17:00 【男女共同参画・若手研究者支援WG主催ワークショップ】会場（小講堂）

「出産育児とキャリア形成：親になることと研究・教育活動」

中真生（神戸大学）

ファヨル入江容子（甲南大学）

柳川耕平（立命館大学）

酒井麻依子（立命館大学）

司会 中澤瞳（日本大学）

【会員休憩室】第6会議室

お知らせとお願ひ

1 2023年度決算報告 (2023.4.1~2024.3.31)

【歳入】 【歳出】

歳入項目	決算額	歳出項目	決算額
前年度繰越金	¥2,405,871	『年報』出版費	¥556,050
納入学会費	¥1,004,000	『年報』編集費	¥0
『年報』売上	¥4,370	『年報』送料	¥740
研究大会参加費	¥500	通信費	¥68,292
普通預金利子	¥3	企画・実行費	¥0
計①	¥3,414,744	事務局経費	¥64,096
【次年度繰越金】	¥1,911,510	研究大会開催費	¥337,165
		研究大会講師謝礼	¥60,330
		国際学会年会費	¥56,401
		事務謝礼	¥330,000
		会員名簿作成費	¥0
		事務局移転費	¥10,160
		研究奨励費	¥20,000
		特別経費	¥0
		計②	¥1,503,234

2 会費納入

学会費（年間3,000円）を同封の振込用紙にてご納入下さい。

3 『現象学年報』印刷版について

すでにご存知のことかと存じますが、日本現象学会の学会誌『現象学年報』は、2021年11月発行の第37号をもって、印刷版の会員配布を廃止いたしました。2022年11月発行の第38号以降は、原則として、電子版の配信というかたちで『現象学年報』を会員の皆様にお届けしています。ただし、東西の国会図書館への送付のため、同誌の印刷版を極小部数作成することになっております。こちら

の印刷版については、会員の皆様にも実費負担で購入していただくことができます（価格未定。単価は購入希望数によって変わります）。第40号（2024年11月発行予定）の印刷版の購入をご希望の方は、2024年11月15日23:59までに下記のフォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/M5EPxr39At1GCTHf9>



第46回

研究大会

日時：2024年11月16日（土）・17日（日）

会場：北海道大学学術交流会館

参加費：500円（会員・非会員の区別なし）

日本現象学会

事務局：

〒060-0810

札幌市 北区北10条西7丁目

北海道大学 大学院文学研究院 田口茂研究室内

Email : paj-office@pa-j.jp

郵便振替 00980-9-109153

HP: <http://pa-j.jp/>